第３号議案

一般社団法人日本社会福祉学会
秋大会開催担当に関する地域ブロックのローテーションに関する申し合わせ事項

1. 2026 年度（第 74 回）以降、秋季大会の開催校を選出する、あるいは実行委員会を立ち上げて開催を担当する地域ブロックは輪番制とする。
（＊2025 年度（第 73 回）大会については、従来通り、会長を中心に大学に打診する）

2. 「北海道」、「東北」、「関東」、「中部」、「関西」および「中国・四国＆九州」の 6 グループで担当ローテーションを組む。ローテーションの順番は次の通りとする。

2026 年度（第 74 回）：北海道地域ブロック（＊日中韓国際シンポジウム幹事国）
2027 年度（第 75 回）：東北地域ブロック
2028 年度（第 76 回）：関西地域ブロック
2029 年度（第 77 回）：関東地域ブロック（＊日中韓国際シンポジウム幹事国）
2030 年度（第 78 回）：中部地域ブロック
2031 年度（第 79 回）：中国・四国＆九州地域ブロック
・・・以降、この順番で巡回していく

3. 毎年、春季大会前日に開催される理事会（例年 5 月下旬に開催予定）にて 2 年後の秋季大会の担当地域ブロックを確認し、開催校の選出または実行委員会の立ち上げを依頼する。

4. 毎年、秋季大会前日に開催される理事会（例年 9 月または 10 月に開催予定）にて担当地域ブロックより状況報告を行う。この時点で開催校あるいは開催方式が決まっている場合は、審議事項として承認を得る。

5. 本件については継続的な検討を行う。この申し合わせ事項の内容から変更するときは、理事会の議決を経なければならない。

【付記】

１）中国・四国地域ブロックと九州地域ブロックは一つのグループとする。毎回二つの地域で協力して担当するのか交代で担当するのかは、都度、当該地域ブロックの判断に委ねることとする。

２）関東地域ブロックには福祉系 4 年制大学数が多いが、春季大会を毎年関東で開催することを考慮し、原則として他ブロックと同頻度でローテーションが回るようにする。

３）日中韓三か国の学術交流において、日本が幹事国となって韓国および中国より代表者を招聘し、秋季大会会期中に国際シンポジウム等を開催する年が 3 年に一度まわってくる。上記ローテーションで運用を行う場合、毎回、北海道地域ブロックおよび関東地域ブロックが担当

の年にあたるが、担当地域ブロックだけでなく、学会全体で協力して国際学術交流に対応する体制を整えることとする。

4）日本社会福祉学会フォーラム開催のローテーションが別途組まれている。フォーラム事業に関して、2024 年度をもって廃止とするか、2025 年度以降も継続するかについて、2024 年度末までに方針を決定することとしている。もし 2025 年度以降の継続が決定した場合は、一年度中もしくは二年度中に、秋季大会と学会フォーラムが同一の地域ブロックで開催されるときは、当該地域ブロック担当理事と理事会が話し合ったうえで、特例として、当該地域ブロックを学会フォーラムの開催担当のローテーションから外すことができる。（2018 年 12 月 8 日 一般社団法人日本社会福祉学会理事会にて承認された「一般社団法人日本社会福祉学会フォーラム開催に関する申し合わせ事項」より）

5）持続可能な秋季大会の運営方法を確立するため、2023 年度（第 71 回）秋季大会および 2024 年度（第 72 回）秋季大会にて、今後の秋季大会のあり方、各業務における責任の所在の明確化、担当者間の業務平準化、開催校または開催地域の労務負荷の軽減、参加者数の増加の方策および適切な予算の使途等について検討を行うこととする。

2023 年 3 月 5 日　一般社団法人日本社会福祉学会理事会にて承認
2023 年 5 月 28 日　一般社団法人日本社会福祉学会 2023 年度定時社員総会にて承認（予定）